

特別企画展 モータースポーツのまち・鈴鹿発～世界へ羽ばたく SUZUKA の歴史～
「世界一への挑戦」-世界に名を知らしめたホンダ S600

「モータースポーツのまち」と称される本市の原点は、1960年に「スーパーカブ」の生産拠点として「本田技研工業株式会社鈴鹿製作所」が開業し、その「ホンダ」の創業者である本田宗一郎氏が「レースをしなければクルマは良くなならない」とし、国際規格の「鈴鹿サーキット」の建設を実現したことに端を発します。

1962年6月、建設途上の「鈴鹿サーキット」で披露されたホンダ初の4輪スポーツカー「SPORTS360」は、車両サイズや排気量の拡大などを行った後、翌年10月、ホンダ初の普通乗用車「S500」として発売を開始しますが、「世界一のモノ」に重点を置くホンダは、半年を待たず、1964年3月に「S600」を発売することになります。

「S600」は、当時1200ccクラスのクルマと同等のエンジンパワー、スピード性能を誇るなど、まさにホンダが世界一を目指したことを物語るスペックでした。

発売直後の1964年5月に鈴鹿サーキットで開催された「第2回日本グランプリ」GT-1クラスで優勝を飾ったほか、同年9月のドイツ「ニュルブルクリンク 500Km 耐久レース」においても、並みいるヨーロッパの強豪車を破り、初出場にして1200cc以下のクラスで欧州における日本車初優勝という快挙を成し遂げました。

「小さなクルマで大きなクルマをカモる」という小排気量車の夢を実現した「S600」は、そのずば抜けた性能と走りの楽しさから、日本をはじめ世界各国のサーキットで活躍し、歴史に残るスポーツカーとなりました。

世界に名を知らしめることとなった「S600」の誕生から60年を迎える今年、本市とホンダの発展軌跡にも通じる「S600」にフォーカスすることで、市民と「モータースポーツのまち」としての成長・発展の軌跡を共有し、シビックプライドを醸成しながら、広く「モータースポーツのまち」を発信する機会にします。

●展示内容

- ・ホンダ S600
 - ・ホンダ S600 エンジン (AS285E)
- ※詳細別紙参照



展示車両（同型）

●展示期間（予定）

令和6年7月3日（水）～11月20日（水）

●展示場所：市役所本庁舎1階 市民ロビー（モータースポーツ振興コーナー）

●主催：鈴鹿市

協力：ホンダコレクションホール

NPO 法人鈴鹿モータースポーツ友の会

【事務担当】 鈴鹿市産業振興部 商業観光政策課
山本・後藤
電話 059-382-9020（直通）